

高田援護室長の模型部屋(第11回)

皆さんこんにちは！フリーマーケットはお好きですか？私も結構好きで見ただけでも楽しいですよ。掘り出し物があったりして。プラモデルなんかを扱うフリーマーケットがあれば行ってみたいのですが、都会の大きな模型店とかでは開催しているようですが田舎ではなかなかそんな機会に恵まれません。

もう20年くらい前の話になりますが、私の友人が駐屯地創立記念日の売店でフリマを出店し、趣味のプロレス観戦のチケット代を稼ぐために買いためていたプラモデルを大放しました。新製品からガレージキットまで半値以下で販売したのですが、一部の商品で、どう考えても子供達が買う様な価格でも品でもないマニアックなものがありました。なので、私が沢山購入(買い叩いて)してあげました。今日はその中から・・・

BMP-2です。



BMPはロシア語で「ボヘバヤ・マシーナ・ペポータ(正確な読み方とは違うかも・・・)」と呼ぶそうで、歩兵用戦闘車両の意味だそうです。今ではBMP-3が使用されているようですが、まだまだ本車両も使用されている様です。

私が3曹(25歳くらいかな・・・)の頃、ロシアの戦闘車両を好きになった時期があり、今回のキットはその頃に作ったものです。キットはドラゴン社製で、当時はロシアの装備品が同社から沢山発売され、ロシア軍ファンには良い時代でありました。

で、冒頭のフリマの話になるのですが、このBMP-2のキットだけであれば、子供達でも買って作ったかもしれませんが、このキットとガレージキットの車内再現キットをセットにしていたので、値段も半額とはいえ一万円近くもして子供達には買えません。万が一買えたとしても、ガレージキットは作りきることが出来ないでしょう。そこで、私が購入することにしたのです。私としてはお買い得でしたが(笑)



キット自体はストレート組なのですが、車内再現キットを取り付けるため、若干手を加えました。車内再現キットのメーカーは忘れましたが、ヨーロッパのどこかの国製です。英語で記述されていたので、辞書を片手に作りました。せっかく車内を作ったのですから、全ハッチ開放状態で固定しました。でも、よく覗き込まないとほとんど見えないという悲しさ(笑)



車体の塗装はグンゼ産業アクリル塗料(現GSIクレオス水性塗料)のダークグリーンを使用し、タミヤエナメルのフラットブラックでスミ入れ、ハフでドライブラシ、エアブラシで陰影を吹き付けてみました。



で、内部が見えない車内再現キットですが、まずは操縦席と分隊長席です。ペリスコープとエンジン室との隔壁が再現されています。写真撮るのを忘れましたが、乗車シートもちゃんとあります。



砲手席と車長席の様子。操作パネルが見えます。見える以上に諸装置が付いているのですが、見えない(泣)



後部下車分隊員席の様子です。三人づつが背中合わせで6人との話がありますが、どう見ても4名背中合わせの8名の様なのですが・・・



後部下車分隊員席の内部から小銃を車外に突き出すガンポートが側面上部に再現されてます。天井には左右3箇所ずつ外を見るためのペリスコープがあります。精密射撃は難しいのではと思います。



後部左のドアにはガンポートが、右扉はペリスコープのみとなっています。乗車したままの突撃時に制圧射撃する際に有効だとは思いますが、使用することあるのかな？あまりそのようなシーンを写真でも見かけないので。



砲塔は各種光学装置が装備されてます。投光機が沢山あるところがロシアらしい特徴ですよ。砲塔左右に白地の3桁の車番もロシア特有です。砲塔に番号を書いている国はあまり無いのでは？



上陸用舟艇のような車体前部です。BMPシリーズは水陸両用なのでこのような形をしています。ロシアの装甲車は水陸両用が多いですよ。



車体後部フェンダー上のグリル部がウォータージェットになっています。水上速度8km/h・・・遅いのか早いのか分かりません。転輪もなんかクッキーみたいな模様というか形をしています。戦車だと穴が開いていたりして軍用車両っぽいのですが・・・。



この作品を作っていた頃は、BMP-1からBMP-2に移行し、ロシアの主力装甲車になっていたのも勉強の意味でも参考になった模型でした。ライバルを知るには模型が一番ですね(本当か?)

さて、今回はここまで。

20年も前に作ったプラモでしたがいかがだったでしょうか？正直皆様の前に紹介するのはお恥ずかしいのですが、写真を撮りながら3曹の頃を思い出していました。

戦車砲手で、迅速・正確な射撃をする事に没頭していました・・・

では、また見てくださいね！